

IBM OpenPages GRC on Cloud

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。適用できる注文関連文書には、お客様の発注に関する価格設定および追加的な詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

IBM OpenPages GRC on Cloud は、企業全体でリスクおよびコンプライアンスのイニシアチブを特定、管理、監視、報告できるように設計されたツール・セットをお客様に提供するサービスです。

1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 基本サブスクリプション

お客様は、以下に記載の「GRC エディション」のいずれか 1 つと GRC Data Storage に対する使用許諾を取得しなければなりません。

IBM OpenPages GRC Starter Edition on Cloud

IBM OpenPages GRC Starter Edition on Cloud の使用許諾により、約 200 人の「IBM OpenPages GRC ビジネス・ユーザー」相当の取引量の増加をサポートする「クラウド・サービス」の構成が利用できます。

IBM OpenPages GRC Basic Edition on Cloud

IBM OpenPages GRC Basic Edition on Cloud の使用許諾により、約 1,000 人の「IBM OpenPages GRC ビジネス・ユーザー」相当の取引量の増加をサポートする「クラウド・サービス」の構成が利用できます。

IBM OpenPages GRC Classic Edition on Cloud

IBM OpenPages GRC Classic Edition on Cloud の使用許諾により、約 5,000 人の「IBM OpenPages GRC ビジネス・ユーザー」相当の取引量の増加をサポートする「クラウド・サービス」の構成が利用できます。

IBM OpenPages GRC Data Storage on Cloud

IBM OpenPages GRC Data Storage on Cloud (必須コンポーネント) 使用許諾は、「クラウド・サービス」のお客様のインスタンスのために、GRC データのストレージを提供します。ストレージは、150 ギガバイトを割り当て単位として販売されます。

1.1.2 GRC ソリューション

お客様は以下に記載する「GRC ソリューション」のうち少なくとも 1 つのソリューションに対する使用許諾を取得する必要があります。

IBM OpenPages Financial Controls Management on Cloud

IBM OpenPages Financial Controls Management on Cloud は、お客様が、財務管理および財務報告規制に関連する関連プロセスを文書化して管理できるようにするツールです。

IBM OpenPages Operational Risk Management on Cloud

IBM OpenPages Operational Risk Management on Cloud は、運用リスクを特定し、測定し、監視するプロセスをお客様が自動化できるようにするツールです。これは、リスクと統制自己評価、損失イベント、シナリオ分析、外部損失、および重要リスク評価指標を含む、リスク・データをまとめて単一のモジュールに統合します。

IBM OpenPages IT Governance on Cloud

IBM OpenPages IT Governance on Cloud は、企業ビジネスのイニシアチブ、戦略、および規制要件に合わせてお客様が IT 運用管理を調整できるようにするツールです。

IBM OpenPages Policy and Compliance Management on Cloud

IBM OpenPages Policy and Compliance Management on Cloud は、お客様が、ポリシーおよびコンプライアンス管理を統合し、ポリシー管理ライフサイクルを自動化し、規制の変更や規制当局の対話を管理できるようにするツールです。

IBM OpenPages Internal Audit Management on Cloud

IBM OpenPages Internal Audit Management on Cloud は、お客様は内部監査業務を自動化して管理し、リスクとコンプライアンスに関するより幅広い管理活動を実施できるようにするツールです。

機能には以下が含まれます。

- a. 監査計画立案
- b. 調書管理
- c. 時間および経費に関するレポート
- d. 監査のレポートおよび要約

IBM OpenPages Model Risk Governance on Cloud

IBM OpenPages Model Risk Governance on Cloud は、お客様が自社モデルのガバナンスを管理できるようにするツールです。

IBM OpenPages Regulatory Compliance Management on Cloud

IBM OpenPages Regulatory Compliance Management on Cloud は、お客様が内部のデータと分類法に合わせて規制データを調整し、規制にかかわる義務の影響を評価できるようにするツールです。

IBM OpenPages Vendor Risk Management on Cloud

IBM OpenPages Vendor Risk Management on Cloud は、お客様が、第三者のコンプライアンスとリスクを管理し、ベンダーまたはエンゲージメントのそれぞれがビジネス・プロセスにどのように関連しているのかを理解できるようにするツールです。

1.1.3 ユーザーの役割

IBM OpenPages GRC Administrator User on Cloud

IBM OpenPages GRC Administrator User on Cloud (少なくとも 1 つが必須) のユーザーは、すべての管理機能および「クラウド・サービス」の利用資格のある GRC 機能に対するアクセスを許可されます。

IBM OpenPages GRC Business User on Cloud

IBM OpenPages GRC Business User on Cloud のユーザーは、「クラウド・サービス」の利用資格のあるすべての GRC 機能と対話することを許可されます。

IBM OpenPages GRC Limited User on Cloud

IBM OpenPages GRC Limited User on Cloud のユーザーは、「クラウド・サービス」の利用資格のある GRC 機能とともに使用する以下のカテゴリーの 1 つに個別に限定されます。

- a. ライト・タッチ: 「クラウド・サービス」を使用して、制限付きのサブコンポーネント・セットへアクセスする必要のあるビジネス機能を実行します (3 つ以内)。
- b. 低頻度な使用: 「クラウド・サービス」を使用して、月単位、四半期単位、または年単位で発生する定期的なビジネス機能を実行します (その場しのぎではなく、また 1 か月未満の頻度は不可)。
- c. 読み取り専用: 「クラウド・サービス」を使用して、データとレポートのみを表示します。

IBM OpenPages GRC Single-Function User on Cloud

IBM OpenPages GRC Platform Single-Function User on Cloud のユーザーは、「クラウド・サービス」の利用資格のある GRC 機能のサブコンポーネントの 1 つを使用して、特定の機能 (事前定義画面経由の自動化された定期的な質問に対する応答を含みますが、これに限定されません。) を実行し、ポリシーに関する理解と承諾を証明する明白な目的のためにポリシー管理の目標を評価するか、または損失イベントの目標を作成することに限定されます。これには、レポートの評価は含まれません。

1.2 オプション・サービス

1.2.1 追加インスタンス

IBM OpenPages GRC Non-Production Instance on Cloud

IBM OpenPages GRC Non-Production Instance on Cloud は、社内での開発およびテスト作業のための、「クラウド・サービス」の非実稼働インスタンスを提供します。

1.2.2 追加アプリケーション

IBM OpenPages Loss Event Entry on Cloud

IBM OpenPages Loss Event Entry on Cloud アプリケーションでは、使用頻度が少ないユーザーまたはプロビジョン対象外のユーザーが、完全なビジネス・ユーザー・エクスペリエンスに触れることなく、運用上のリスク損失イベントを「クラウド・サービス」に送信する際に使用できるインターフェースを利用できます。

IBM OpenPages GRC SDI Connector for UCF Common Controls Hub on Cloud

IBM OpenPages GRC SDI Connector for UCF Common Controls Hub on Cloud アプリケーションを使用すると、新規の規制や管理などの規制に関するコンテンツを Unified Compliance Framework (お客様は UCF Common Controls Hub サブスクリプションを取得しなければなりません。) から「クラウド・サービス」へインポートすることができます。

1.3 アクセラレーション・サービス

1.3.1 セットアップ・サービス

お客様は、IBM OpenPages GRC New Client Jump Start on Cloud または IBM OpenPages GRC Existing Client Jump Start on Cloud のいずれかを取得する必要があります。

IBM OpenPages GRC New Client Jump Start on Cloud

IBM OpenPages GRC New Client Jump Start on Cloud は、OpenPages GRC のことをまったく知らないお客様を対象に、「クラウド・サービス」の初回の導入に関するサービスを提供します。

「クラウド・サービス」の「GRC ソリューション」を構成/拡張またはその後に追加するためのサポートは、IBM OpenPages の「サービス」と共に別個の「作業指示書 (SOW)」を通じて提供されます。

以下のような、お客様固有のその他の活動に対して「作業指示書 (SOW)」が必要です。

- a. ビジネス・エンティティ階層のセットアップ
- b. ユーザー・ベースのセキュリティーの実装
- c. データ・ローディングの支援
- d. お客様固有のその他の活動

IBM OpenPages GRC Existing Client Jump Start on Cloud

IBM OpenPages GRC Existing Client Jump Start on Cloud は、既存の「OpenPages GRC プラットフォーム」のオンプレミス導入でつながるお客様を対象に、「クラウド・サービス」の初回の導入に関するサービスを提供します。

「クラウド・サービス」の「GRC ソリューション」を拡張または追加するためのサポートは、IBM OpenPages の「サービス」と共に別個の「作業指示書 (SOW)」を通じて提供されます。

既存のお客様データまたはお客様固有のその他の活動を移行するには「作業指示書 (SOW)」が必要です。

1.3.2 リモートで提供されるサービス

IBM OpenPages GRC Custom Deployment Services on Cloud

IBM OpenPages GRC Custom Deployment Services on Cloud は、リモートで提供されるサービスであり、「クラウド・サービス」への拡張機能の導入を希望するお客様を支援するために、IBM OpenPages の「サービス」エンゲージメント時間を 40 時間提供します。

このエンゲージメントの一環として実施される活動の例は以下のとおりです。

- a. お客様との調整
- b. 導入する拡張機能の収集およびお客様からの指示の検討
- c. お客様固有の拡張機能の導入
- d. 拡張機能が適切に導入されているか確認するためのログのレビュー

お客様は、購入後1年以内またはサブスクリプション期間(以降の更新を含まない)の終了前のうち、いずれか早期に終了する期限までに、すべての時間を利用する必要があります。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」)のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」)にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション(処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、DPA が適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=79E08A8001B011E7982D0C38141F4056>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート(サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど)を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「取引文書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- a. 「アプリケーション」は、「クラウド・サービス」により開発される、または「クラウド・サービス」へアクセスするために提供されるか、「クラウド・サービス」で使用される、固有の名前が付けられたソフトウェア・プログラムです。

- b. 「許可ユーザー」とは、直接または間接のいかなる方法においても (例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて) 「クラウド・サービス」 へのアクセス権限を付与されている特定のユーザーを指します。
- c. 「ギガバイト」 (「GB」) とは、「クラウド・サービス」 によって処理されるか、「クラウド・サービス」 において使用、保管、または構成される 2 の 30 乗バイトのデータとして定義されます。
- d. 「インスタンス」 は、「クラウド・サービス」 の特定の構成への各アクセスを意味します。
- e. 「エンゲージメント」 とは、「サービス」 に関するプロフェッショナル・サービスまたはトレーニング・サービスです。

5. 追加条件

2019年1月1日よりも前に締結されるクラウド・サービス契約書 (または同等のクラウド基本契約) については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

5.1 バックアップ

バックアップは、実稼働インスタンスについては毎日実行され、非実稼働インスタンスについては必要に応じて実行されます。IBM はお客様のデータのバックアップ・コピーを、実稼働インスタンスについては最大3年間、非実稼働インスタンスについては最大90日間保持します。お客様は、個々のユーザーによるデータの削除を防止するために、「クラウド・サービス」のセキュリティーを構成する責任を負い、当該データが削除された場合には、IBM には当該削除データを復旧する義務がないこと、および可能な場合には、かかる作業について料金を課すことができることをお客様は了承し、同意するものとします。

5.2 クラウド・サービスの有効期限

「クラウド・サービス」の満了または終了の前に、お客様は「クラウド・サービス」について提供された報告機能またはエクスポート機能を使用してデータを抽出することができます。カスタム・データ抽出サービスは、別途契約に基づいて提供されます。

「クラウド・サービス」の満了日または終了日から30日以内にお客様からサポート要求を受け取った場合、IBM はお客様のコンテンツの電子コピーをネイティブ・アプリケーション形式でお客様に返却します。

5.3 非実稼働 (Non-Production) に関する制限

「クラウド・サービス」が「非実稼働」と指定されている場合、その「クラウド・サービス」は、お客様の社内での非実稼働活動に対してのみ使用することができます。この活動には、テスト、パフォーマンス調整、障害診断、内部ベンチマーキング、ステージング、品質保証活動、または公開されたアプリケーション・プログラミング・インターフェースを使用して行われる「クラウド・サービス」に対する内部使用の追加機能または拡張機能の開発などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。お客様は、「クラウド・サービス」のいかなる部分も、実稼働に関する適切な使用許諾を取得せずに、その他の目的で利用することはできません。

5.4 第三者の利益のための使用に関する制限

お客様は、IBM が書面により別段の合意をした場合を除き、「クラウド・サービス」またはそのコンポーネント (「クラウド・サービス」 により作成される出力データおよびレポートを含みますが、これらに限定されません。) を、サービス・ビューロー、ホスティング・サービスまたはその他の商業目的の情報技術サービスを第三者に提供するために使用することはできません。